

表3 中学校2年生の一年間を通した「授業モデル」(光村図書「国語2」)

過程	思考力の要素	1学期	2学期	3学期
		「文化を伝えるチンパンジー」 (問題提起文あり)	「モアイは語る 地球の未来」 (問題提起文あり)	「言葉の力」 (問題提起文あり)
指導の工夫				
つかむ	【A】 言語情報への主体的な働きかけ	<p>題名から、内容を予想する。 全体の構成を考えながら、問題提起や結論を述べている文を把握する。 1段落に示された問題提起と3段落に示された結論部分とを確認し、そのつながりを読み取っていくための課題をつかむ。</p> <p>&lt;読みの課題&gt;</p>		
		「人間の文化の起源を調べるには、チンパンジーの行動を観察することが有効」とあるが、それはどのような理由から考えられたのか。	「わたしたちの住む地球の未来を考えるうえで、とても大きな問題」とあるが、それにはどのような「問題点」があり、その解決策はどうあるべきか。	「言葉というものの本質が、それを発している人間全体の世界をいやおうなしに背負ってしまう。」とあるが、それはどのような理由から考えられたのか。
深める	【B】 言語情報の正確な把握 【C】 言語情報と生活体験との関連付け 【D】 既存の知識や体験に基づく言語情報の評価	<p>「課題」について、「チンパンジー」と「人間」に関する記述内容を探し、両者を比較した表に記入する。 「課題」について具体的に読み取っていくための観点(地域の環境と文化の在り方、文化が親から子へ伝わっていく過程)を基に、その観点に沿って、自分なりの主張をまとめる。</p>	<p>「課題」について、「イースター島」と「現在の地球」に関する記述内容を探し、両者を比較した表に記入する。 「課題」について具体的に読み取っていくための観点(人口の増加、森林の破壊、食糧・資源問題、土壌の流失)を基に自分が追究したいものを選択し、その観点に沿って、自分なりの「問題点」に関する解決策をまとめる。</p>	<p>「課題」について、「桜の木(に関する出来事)」と「言葉の世界での出来事」に関する記述内容を探し、両者を比較した表に記入する。 「課題」について具体的に読み取っていくための観点(花びらと言葉、桜の木と人間)を基に、その観点に沿って、自分なりの主張をまとめる。</p>
まとめる	【E】 新たな思考の生み出しと言語化	<p>「チンパンジー」と「ヒト」とを比較した表を基に、文章構成を工夫して、二つの観点を踏まえた「文化の伝承」に関する自分なりの考えをまとめる。</p>	<p>自分で選んだ観点到合った「イースター島」に関する記述やそれに対応する「現在の地球」の記述を比較し、文章構成を工夫して、「地球の未来」に関する自分なりの考えをまとめる。</p>	<p>「桜の木(に関する出来事)」と「言葉の世界での出来事」とを比較した表を基に、文章構成を工夫して、二つの観点を踏まえた「言葉の力」に関する自分なりの考えをまとめる。</p>